



リハビリテーション・栄養・口腔の 一体的取り組みを進めるために



令和6年度介護報酬改定にて、厚生労働省より、通所リハビリにおける「リハビリテーション・栄養・口腔の一体的取組み」が推奨されました。この背景にはより効果的な自立支援、重症化予防を図ることが期待されています。今年度よりこの取り組みを評価する加算として、リハビリテーションマネジメント加算に新たな区分が設けられることとなりました。

この状況を受けて当院では、より良いリハビリテーションを提供していくために、新たに設けられたリハビリテーションマネジメント加算を算定しています。



一体的取り組みを進めるためには、当院の職員だけでなく利用者ご本人様やその家族、さらに介護保険に関わる多職種の理解が必要となります。そこで今回、**リハビリ科主催でリハビリテーション・栄養・口腔の一体的取り組みについての研修会を開催させて頂きました。**

今回の研修会では、先駆けとしてケアマネージャーさんを対象として実施させて頂きました。研修会では、一体的取り組みの重要性に加え、新設されたリハビリテーションマネジメント加算の算定要件や実際に取り組みを行った結果と効果のあった事例を紹介いたしました。さらにリハビリ職員からだけでなく、当院の管理栄養士にも協力して頂き、在宅でできる栄養アセスメントについて講義していただきました。

今回の研修会により、参加された方からは理解が深まったとの意見を頂きました。ですが、参加者の人数が14人と少なく、まだまだ当院周辺地域の方々には伝えきれていないと感じました。今後も一般の方や、他の職種の方へ向けた研修会や取組を実施し、皆様の協力のもと質の高いリハビリテーションの提供が出来るよう精進してまいります。

■ 医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。
主治医にご相談ください。

▶ 施設基準

心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ
運動器リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
がん患者リハビリテーション料
摂食機能療法



病院リハ部門 主任
丸山あすみ 松下知史

心臓リハ部門 主任
津久井亮

■ 通所リハビリテーション関越中央

1~2時間の短時間通所リハ、6~7時間の長時間
通所リハを行っております。
相談員業務をリハ職が行うことにより、利用者様
に合わせた最適なプランを提案させていただきます。

■ 訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで、
心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用
頂けます。



介護リハ部門 主任
狩野和子 田口裕一

空き状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9:00~10:15	○	○	○	○	○
短時間型通所リハ 2クール 10:30~11:45	△	○	○	○	△
長時間型通所リハ 9:00~15:15	○	○	△	○	○
訪問リハビリ 13:00~17:00	△	△	○	△	△

○：受け入れ可能 △：要相談 ×：受入困難

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71

TEL：027-373-5115 (代) FAX：027-372-2829

アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

ひとことコラム 第 64 回

「運動をまとめてしても効果あり!？」

忙しくて運動を毎日なんてできないよ!という人には朗報かもしれません。2024年9月に掲載された論文を紹介します。現在運動に関するガイドラインでは一般的に中~高強度の運動を1週間に150分以上行うことが推奨されています。論文の研究はこの運動を毎日20分小分けにして行うのと、数日にまとめて行うのとで健康への影響が異なるのかを検証しています。対象は9万人弱で、「毎日少しずつ運動する群」、「週末にまとめて運動する群」、上記の運動量に満たない「非運動群」の3つに分類。結果は非運動群と比較し、運動する群では運動のスケジュールにかかわらず高血圧、糖尿病などの生活習慣病を含む200種類以上の病気のリスクが大幅に低下する結果だったそうです。忙しいを理由に運動をしていない読者の方(筆者含む)、お休みの日にまとめて運動しても大丈夫かもしれません。

参考Kany S, et al. Circulation.2024;150:1236-1247